

令和 8 年度医学部交換医学教育において、医学部 6 年次生 17 名を海外の協定校 4 大学へ派遣しました。派遣先は、韓国のウォンカン大学（4 名）、コシン大学（4 名）、台湾の馬偕医学大学（5 名）、タイのタマサート大学（4 名）で、各大学において臨床実習をはじめとする様々な活動に参加しました。

本プログラムの実施にあたり、今年度は初の試みとして、国際センター運営会議委員の岩田教授（医学教育改革推進センター）および Bell 助教（英語）による英会話トレーニングを、参加を希望する学生を対象に実施しました。トレーニングでは、渡航先で想定される質問への対応や場面を想定した質疑応答を行い、学生たちは熱心に取り組んでいました。

また、渡航前オリエンテーションでは、派遣学生からプログラムへの期待や将来の目標について発表があり、海外での学びに向けた意欲がうかがえました。

現地では、各大学の学生とともに臨床実習に参加し、それぞれの医療制度や診療体制について理解を深めるとともに、医療現場における実践的な学びを得ることができました。学外でも現地学生と積極的に交流し、多くの経験を得ることができました。タマサート大学への派遣には、中山田教授（第 1 内科学）が同行し、学生の引率および現地教員との意見交換を行いました。

本プログラムは各大学との交流協定に基づいて実施されており、今後は各大学からも学生を受入れる予定です。今回の経験が参加学生一人ひとりの成長に繋がるとともに、協定校との交流が一層発展することを期待しています。

（派遣期間）令和 8 年 6 月 14～27 日

<韓国> ウォンカン大学 （4 名）

<韓国> コシン大学 （4 名）

<タイ> タマサート大学 （4 名）

令和 8 年 6 月 21 日～7 月 4 日

<台湾> 馬偕医学大学 （5 名）



英会話トレーニングの様子



中山田教授引率の様子（タマサート大学）



ドクターヘリ見学の様子（ウォンカン大学）



現地学生との交流の様子（タマサート大学）



回診中に先生に質問する様子（馬偕医学大学）



修了式の様子（コシン大学）